

NEWS



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通1-1-1-203 (サンピア2F)

TEL078-230-9774 FAX078-230-9786

E-Mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

市民が市民の目線と尺度で考えた助成で、市民活動を支えるということとは、市民社会の根幹に関わることだと私は思います。その意味でも「しみん基金・KOBE」は市民ぐるみで大切に育てていかなければならない。しみん基金・KOBE設立に合わせ、私たちは神戸復興塾を中心に「神戸あいウオーク実行委員会」を立ち上げ、3年間「あいウオーク」を実施しました。しかし、いろんな事情から今年中断しています。今、求められているのは、「あいウオーク」に代わる市民募金イベントであり、募金イベントを支える理念の共有ではないでしょうか？

先日行われた助成金受領団体交流会においても、参加者より「しみん基金・KOBE」は市民活動団体にとって単なる助成団体の一つではなく、自分たちで支えなければならぬ唯一の自前基金なのだということの認識が大切だと強調されました。それは、必ずしも助成を受けた団体にとって、会費を払ったり寄付をすることではないと思います。基金によって出来たこと、しみん基金であることによる違い、それらをもっとみんなに知ってもらおうことが「しみん基金・KOBE」を支える大きな力になるということに他ならないのではないのでしょうか。

今後、「しみん基金・KOBE」は、広報やイベントを通じてその存在意義を知ってもらおう努力を重ねていきたいと考えています。みなさんの参加と協力をお待ちしています。

常務理事 野崎隆一

目次

▼交流会開催

▼インキュベートオフィス

入居者募集のお知らせ

▼はあくどふるふぁんど

支援金支給

▼神戸の冬を支える会に寄付

▼理事の横顔

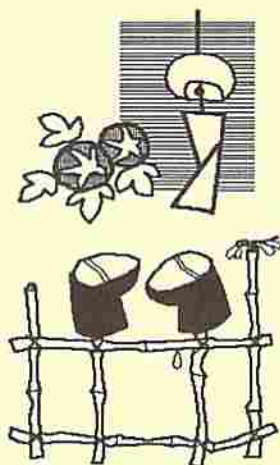
▼ご寄付いただいた方々

▼助成事業のご案内

▼お知らせ・あとがき

残暑お見舞い

申し上げます



寄付者と市民活動団体の交流会開催

去る7月14日(日)、コミスタ神戸で当基金主催による「市民活動団体と寄付をいただいた方との交流会」が行われました。

平成11年の設立以来、当基金では個人・団体・企業を問わず、本当に多くの方々から「厚意や」寄付をいただいております。しかし、「市民の手で市民を支える」という土壌、草の根活動支援に対する社会の意識はまだまだ浸透していないのが実情です。これまで計4回の助成事業を実施してきた成果を検証しつつ、過去の助成団体と寄付者の皆様にお集まりいただいた、市民団体と寄付者双方の交流と情報交換を図る場を設けるべく、交流会を開催する運びとなりました。

交流会当日は、日曜日かつ猛暑という状況下ながら、多くの方々にお集まりいただきました。日常の活動に追われて、なかなか横のつながり、ネットワークの機会を得られない皆様にとって格好の場になったようで、積極的な情報交換と交流が持たれたと思います。その中で、各市民団体が日頃の活動内容や助成後の経過等を発表し、寄付者代表として、「神戸あいウオーク実行委員会」の小森星児委員長にあいウオークの意義と成果等について語っていただきました。

今後このような機会を設けることで、中間支援組織としての役割を果たし、自立した市民社会の確立に寄与していきたいと思っております。



交流会のようす

参加団体

在日韓国青年連合兵庫地方協議会
サポートステーション灘

東灘地域助け合いネットワーク
つどいの家

(特) COM総合福祉研究所
(特) 市民活動センター神戸

(社) こうべいのちの電話
エフエムわいわい友の会

喫茶赤とんぼ作業所
(特) ゆいまぐる神戸

(特) 中央むつみ会
ブラザ5運営委員会

西宮移送サービス
御影倶楽部

(順不同・敬称略)



インキュベーターオフィス
入居者募集

生きがいしごとサポートセンター神戸「わくす」プランチ(西元町)では九月下旬より、起業家のためのミニ事務所スペースの提供を始めます。対象は「福祉」「まちづくり」「子育て」「環境」など、分野を問わず、地域に根ざし地域に役立つコミュニティ・ビジネスをこれから始めようとする方・団体です。わくすプランチの一面で人や情報が交流する場です。立ち上げのための拠点としてぜひご利用ください。

◇事務所スペースの内容

- ・約二坪に机一、椅子一、鍵つきキャビネット
- ・共通のもの：本棚、簡易応接セット
- ・その他：インターネット常時接続、電話回線工事済み

◇利用できる曜日・時間

- ・月～金 九～二時・土 九～一九時
- ※右記以外の利用時間についてはご相談ください。

◇一スペースあたり利用料金

- (月額) 利用料一万円、水光熱費三、五〇〇円+冷暖房費(季節変動)
- (入居時) 設備費：二万五千元

◇利用期間

- ・最長二年間(ただし二〇〇三年四月以降契約内容の見直しあり)

◇募集スペース数

- ・四スペース(複数応募も可)

◇見学会

- ・九月四、六、九日
- ◇入居開始日
- ・九月二四日(火)～

◇応募方法

- ・書類申請締切：九月十日(火)
- ・面談：九月一日(水)～一九日(木)
- ◇応募・連絡先
- 生きがいしごとサポートセンター神戸「わくす」プランチ
- 〒六五〇〇〇二二 神戸市中央区元町通六～七九 秋毎ビル三階
- 電話：078-813671-4470、ファクス：3671-3337
- 担当：八十、石川

※生きがいしごとサポートセンター神戸「わくす」は財団法人阪神・淡路大震災復興基金を財源とした委託事業として特定非営利活動法人しみん事業サポートネットワークが事業運営を行うものです。



「はあくとふるふあんど ひょうごボランティアあしすと」

しみん基金・KOBÉが「はあくとふるふあんど委員会」より事務委託を受けて窓口となった「はあくとふるふあんど・ひょうごボランティアあしすと」が無事、支援金の支給を終えました。

「はあくとふるふあんど」は、兵庫遊技業協同組合のハート玉福祉支援事業の一環で、遊技場のお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換時の余り玉に各遊技ホールからの寄付金を加え、基金にしたものです。

「ひょうごボランティアあしすと」については一千万円が集まりました。

5月20日に神戸ポートピアホテルにて支援決定団体に支援金の目録贈呈式が行われ、覚書締結後26団体に後日、総額一千万円の支援金を支給しました。

今年の1月7日から2月28日の応募受付期間中に150件もの申請を受け、事務局では嬉しい悲鳴をあげていました。

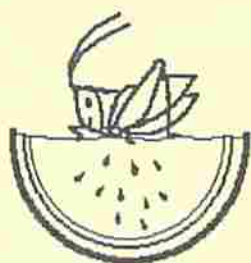
これは兵庫県内全域が応募の対象になった事と、新聞広告・ラジカ等で幅広く広報がなされた事が功を奏したものであると同時にこの事業がこれほど多くの方々に認知された背景には兵庫遊技業協同組合の福祉支援・地域貢献に対する姿勢が高く評価されたものであると思えます。

素晴らしい調査力に脱帽

「はあくとふるふあんど」は兵庫県内のパチンコ店がお客の協力を得て、持ち寄ったお金を社会活動支援につかう新しい試みだ。そのひとつとしてボランティアやNPOを支援する「ボランティアあしすと」事業を展開し、この募集事務をしみん基金・KOBÉにお願いした。さすがしみん基金・KOBÉのネットワークは広く、予想を上回る150件もの応募があった。しかも申請書類を分かりやすく調査し、整理していただいたので、選考作業は大いに助かった。また選考会にしみん基金・KOBÉからお二人の方に加わっていただき、適切なアドバイスを頂戴できて本当に良かったと思っている。改めてお礼申し上げます。

はあくとふるふあんど

委員会委員長
山口一史
(ラジオ関西社長)



贈呈式の様子

しみん基金・KOBÉを通じて

「隣は何をする人ぞ」。身近な存在なのに感心が薄かったり、誼があることすら知らないことって意外と多いかもしれません。私自身も気づかないうちにボランティア団体の方に大変お世話になっていたのではないのでしょうか？

実は「はあくとふるふあんど」も社会福祉に大きな関わりを持ちながらも、その存在を認知されにくい隣人のひとりでした。しみん基金・KOBÉを通じて、ボランティアのみなさまに顔の見える隣人として「ハート玉」募金活動を続けてまいりますので、今後ともよろしく願います。

兵遊協・はあくとふるふあんど

委員会 事務局
佐川 英樹

「神戸の冬を支える会」に 50万円を寄付

ピアニストのイングリッド・フジ子・ヘミングさんより昨年の12月18日に「寄付いただいた百万円のうち五十万円を「ホームレスの方のために使ってほしい」というフジ子さんのご意志を受け、神戸市内でのホームレス救済活動を行っている「神戸の冬を支える会」にしみん基金・こうべより寄付させていただきます。

当基金の黒田理事長及び金理事が3月7日に「神戸の冬を支える会」の活動拠点であるカトリック神戸中央教会にて寄付金の目録を贈呈致しました。

当日は、同会の活動日に当たり、ボランティアや職員の方々が炊き出しを行っておられました。スタッフのお話では震災やその後の不況によりホームレスの方は急増しているとの事で、厳しい現状をあらためて痛感いたしました。



目録贈呈の様子

理事の横顔



神戸定住外国人センター 代表
金 宣 吉

現在持っている名刺だけで、しみん基金・KOBÉを含めて7種類、悲しいかな皆、非営利活動です。いろんな団体名で新聞などに出るものから、子どもの通う保育所では、何をしているのかわからない「お父さん」であるみたいです。

しみん基金・KOBÉには、準備会の時から参加している縁で、理事として関わらせていただいています。理念である「しみんがしみん活動を支える基金づくり」にはまだまだ山あり谷ありなんだと痛感します。

そんな中で小さいながらもしみん基金・KOBÉとリンクできるしくみと考え、村井副理事長らと進める「バンブーCOOP」というコミュニティ・ビジネス活動の売上の一部をしみん基金・KOBÉに寄付する活動をしています。塵（ちり）ばかりでは、基金を支える理事としては不十分かもしれません。日本に「塵も積もれば山となる」というのがあります。いろんな塵がしみん基金・KOBÉに寄せられればと思います。

従前の仕組みの金属疲労が深刻化する中で、NGOやNPOの期待される役割は日々増えていると思えますが、脆弱な基盤、特に経済基盤の弱さは非営利活動のセクターにとって最も重い課題だと思えます。

意欲ある活動にお金が回るしくみを考えないと、折角活発になった活動も持続することができません。しみん基金・KOBÉを知らせて多くの協力者を得られるように事務局と進めたいと思います。マイノ

リティの視点から、そんな構造的な矛盾を生み出す社会の変革に必要な知恵を生み出したいと思っています。

理事 金宣吉

会員数と「寄付の報告

(2002年3月～
2002年8月)

◆正会員

個人41名 団体6名

◆賛助会員

個人71名 団体20名

◆寄付・募金合計金額

764481円

◆寄付者・募金一覧

(敬称略・順不同)

フェニックス地域活動

フォーラム実行委員会

KCCライフプランセミナー

(ソニー生命)

W・Sひょうご運営委員会

高砂ネットワーク協議会

日本聖公会三光教会

中島秀男

坂井幸嗣

柳田邦男

室崎益輝



皆様、

ありがとうございました。

◆夏といえば高校野球の季節

ですが、このニュースがおり手元に届く頃には高校野球も佳境に入っていることのできそうです。あのエネルギーがユナブレに圧倒されるだけだけでなく、元氣と若さを少しだけ分けてもらい、厳しい夏を乗り越えてほしいです。(S)

平成14年度第1回助成事業のご案内

当基金では今秋、平成14年度第1回助成事業を行う運びとなりました。

9月初旬から中旬にかけて申請団体の募集を行います。公開審査会は10月の初旬の予定となっています。

今回もできるだけ多くの団体の方々に助成金を支給したいと思っていますので皆様是非ご応募下さい。

詳細については未定ですが、お問い合わせは事務局までお気軽にお電話下さい。お待ちしております。

「しみん基金・KOBÉ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円
賛助会員 年間 10,000円



お申し込みは電話・FAX・電子メールなどで、お名前・住所・電話番号をお知らせ下さい。

振込口座 三井住友銀行 三宮支店 普通7965892
みなと銀行 本店営業部 普通1597921
近畿ろうきん 神戸支店 普通4161854
郵便振替 00990-5-157334
口座名義「しみん基金・こうべ」

